

お盆のはなし

連日耐え難い暑さが続いており、8月に入り、夏もようやく折り返し地点といったところでしょか。8月といえば、お盆の季節です。お盆休みを利用して帰省されたり、どこかへ旅行に出かけられたりする方も多いでしょう。ところで、そもそもお盆とはどんな行事なのでしょう。なんとなくは知っているけれど、はっきりとはよくわからない、そんな方もいらっしゃるのでは？そこで今回は、お盆についてお話をしつつ、お盆におすすめの花をご紹介します。

お盆とは、仏教用語の「盂蘭盆会(うらばんえい)」を略したもので、一般的に8月13〜16日(東京や一部地域では7月13〜16日)に行われます。13日の盆入りを迎え火を焚き、ご先祖様や亡くなった方の霊をお迎えします。14・15日は盆中日で、家族でお墓参りに行ったり、お経を読んだりして供養

をします。そして16日の送り盆に送り火を焚き、ご先祖様の霊をお見送ります。お盆は古来より日本人にとって大切な行事とされてきました。ご先祖様の霊をお迎えし、共に過ごすことで感謝し供養するという意味が込められています。その感謝の気持ちを込めて仏壇やお墓に花やお菓子を供えます。

お盆にはこれらのお供えするお花には、一般的に菊やリンドウ、トルコキキョウ、カーネーションなどが使われることが多いです。「鬼灯」と書くことから、ほおずきが提灯の役割として飾られることもあります。また仏教において、蓮は最高の植物といわれています。仏像の台座など、蓮の花の形を見かけることも多いのではないのでしょうか。お盆にはこれらのお花をお供えするお盆におすすめです。ただし、そこまで堅苦しくしなくても、故人が好きたった花をお供えするの

良いかと思えます。好きな花の方が、亡くなられた方も喜んでくださるかもしれませんね。名古屋園芸ではお盆のアレンジメントや鉢花を多数ご用意しておりますので、ぜひ店頭で故人を想いながら花をお選びください。

さて、お盆を過ぎると涼しくなると言いますが、少しずつ空や空気が秋の気配を漂わせてきます。お盆を終えたら、少しずつ秋を迎える準備を始めてみてはいかがでしょうか。例えば、お盆に使ったほおずきをドライフラワーにして飾れば、一気に秋めいた雰囲気になります。名古屋園芸でも秋の草や鉢花が入荷してきています。ぜひ店頭でご覧になりながら、秋の気配を感じてみてください。皆様のご来店をお待ちしております。



① 仏花 ¥1,200+税
定番の菊を使わず、リンドウや蓮の花でかわいらしくまとめました。



② ほおずきとユリのアレンジメント ¥5,000+税
ほおずきをご先祖様が家に帰る目印です。真っ白なユリとグリーンでさわやかに仕上げました。



③ トルコキキョウとリンドウのアレンジメント ¥3,000+税
真っ白なトルコキキョウがおしゃれな洋風のお供えアレンジメントです。



④ 多肉ファンから熱い注目を集める「アデニウム」。鮮やかな花は「砂漠のバラ」とも称され、育てる価値ある一鉢です。ぜひ店頭にてご覧ください。



⑤ 丸みが可愛いコチレドン ペンデンスと、個性的なウェーブが魅力のクラッスラ リップルジェイド。シンプルな陶器鉢に合わせてモダンなインテリアにも馴染みます。



⑥ 可愛いだけでなくクールな雰囲気もおまかせ。扇形に広がる葉がかっこいいガステリアリトルフーティと、ユニークなウチワサボテンは小ぶりながらも存在感があります。



⑦ 涼し気なガラス鉢を使えば夏の雰囲気にも馴染みます。



⑧ 遊び心のある鉢に合わせた楽しい寄せ植えはプレゼントにもピッタリです。



⑨ 多肉植物の持つナチュラルな雰囲気を木製の鉢カバーで引き立てます。



⑩ 小さな多肉植物を色々飾ってみるのもオススメ。同じシリーズの鉢でまとめれば統一感も出て見た目の印象も各段にアップします。

Green Life 多肉植物のキホン

ここ数年、園芸ファン以外の方からも注目されている多肉植物。ぷっくりとみずみずしい葉の質感や、個性的なフォルム。加えてお水やりの頻度が少なくすむ事からも、お部屋のインテリアにという方が増えています。ですが当然生きている植物なので、ただ置いておくだけでというわけにはいきません。

せっかく買った植物に元気がなくなってしまうのは、なんて事にならないように、季節ごとの管理の仕方を一緒にさらいしてみよう。

春・秋の管理
穏やかな気温と日光で生育が活発な時期です。なるべく外の日当たり・風通しの良い場所で管理する事で美しく元気が育ちます。日光不足になると、色があせたり葉がひよろひよろと間延びして軟弱になってしまいますので、室内に置かれる場合はなるべく日当たりの良い窓辺などに置いてください。

この時期はほとんど生育が停止しますので、水やりはほとんどしませんが、月に1回程度、霧吹きで葉水をやる程度で大丈夫です。涼しくなった夕方に行いましょう。直射日光は強烈すぎるので、明るい半日陰で管理しましょう。

冬の管理
ほとんどのタイプが寒さに弱いですが、できるだけ暖かく日当たりの良い室内で管理しましょう。夏と同様に生育は停止していますので、水やりはほとんどせず葉水を月1回程度、なるべく気温のある日に行いましょう。

基本的な管理を簡単にまとめましたが、途中で話した通りの種類も同じ管理というわけにはいきません。それぞれ生育する時期により「春秋型」「夏型」「冬型」の3パターンに分類されていますので、まずはその植物が何型

どのタイプが寒さに弱いですが、できるだけ暖かく日当たりの良い室内で管理しましょう。夏と同様に生育は停止していますので、水やりはほとんどせず葉水を月1回程度、なるべく気温のある日に行いましょう。

基本的な管理を簡単にまとめましたが、途中で話した通りの種類も同じ管理というわけにはいきません。それぞれ生育する時期により「春秋型」「夏型」「冬型」の3パターンに分類されていますので、まずはその植物が何型

置き場所と水やりのポイントさえおさえれば、毎日お世話する手間はほとんどなくお手軽に育てられる多肉植物。お気に入りの品種を1鉢でじっくり育てて成長を見守るのもいいですし、オリジナルの寄せ植えを作ったり、SNSにアップして自慢したり、プレゼントにしてもきっと喜ばれますよ。毎日忙しさに追われる方にこそオススメ、手間をかけさせず癒しをくれる多肉植物をお部屋に1鉢いかがでしょうか？



⑪ 秋を感じる寄せ植え
秋は実のものがかわいい季節です。カラフルなトウガラシと千日紅で秋の気配を感じましょう。



⑫ ほおずきの寄せ植え
お盆を過ぎたら秋の寄せ植えとして、長く楽しめます。